

海外安全対策情報（２０２３年１月～３月）

在ベネズエラ日本国大使館

１ 社会・治安情勢

当地ＮＧＯの統計によれば、２０２３年１月～３月に発生した抗議デモの件数は２，８１４件で、前年（１，９０９件）比で約４７％増加しました。

同期間中、デモ活動の理由として最も多かったのは、経済的・社会的・文化的・環境に関する権利（DESCA）の要求に関するもので約８８％を占めました。一方、市民権・政治的権利（DCP）の要求は、全体の１２％にとどまりましたが、その中でも、政治的権利の要求と擁護に関連する抗議活動が依然として継続しています。

この期間中、国内１８の州で５６件のデモ活動が治安当局によって抑圧され、１４人が拘束、１人が負傷しました。抗議デモに関連する死者数は０人でした。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

当地治安当局によれば、２０２３年１月～３月の全国の犯罪発生認知総件数は、前年同期と比較して微増し、カラカス首都区では約１４％増加しました。

（２）各論

同当局によれば、全国的に殺人事件や強盗事件、誘拐事件等の主要な凶悪事件の発生件数は、引き続き減少しており、この傾向は、カラカス首都区も同様です。しかし、全国的に詐欺事件が増加傾向にあるほか、カラカス首都区では、窃盗事件も増加しています。また、治安当局に抵抗した結果、死亡するケースがカラカス首都区で増加していますので、同地区への立ち寄りが必要最小限度にとどめる必要があります。

（３）邦人等の被害事案

なし。

３ テロ・爆弾事件発生状況

報道等によれば、国境沿いの地域において、みかじめ料を払わない商店等に爆発物を投げ込む事案が散発的に発生しています。引き続き、これらの地域へは近づかないようにしてください。また、外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

４ 誘拐・脅迫事件発生状況

当地治安当局によれば、２０２３年１月～３月中に、カラカス首都区や地方都市において身代金目的誘拐事件が数件発生しています。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。